

技術士 1 次試験に合格して



祖父江 健二

(そふえ けんじ)

勤務先

三建設備工業株式会社

北海道支店 CS 部

〒011-0015 札幌市北区北 15 条西 2 丁目 1-1

TEL 011-716-4266 FAX 011-726-6203

E-mail k-sofue@skk.jp

■ 専門：衛生工学部門

■自己紹介

私は北海道で生まれ育ち、札幌市内の高校を卒業後、大学時代を室蘭で過ごし、現在の会社に入社しました。主な業務は建築建物の空調・衛生設備の施工管理で、入社後 17 年程東京・横浜で勤務した後、北海道に戻ってきました。

その後 13 年間同業務を継続し、10 年程前から増改修工事や省エネ提案等の営業・計画・設計業務に就く事になり、現在に至っております。

■受験に至るまで

今まで業務上で必要な様々な資格は取得してきましたが、技術士は私の中では最高峰の資格であり、業務の多忙さからも、とても受験する考えには及ばませんでした。その中、社長からも技術士にチャレンジしてはとの声かけがあり、2 年前に定年を迎え業務が多少軽減したことから、時間にゆとりができるようになり、資格取得を試みるように思い立ちました。

また、私が居住するマンションで住戸のボイラーをめぐる、住人同士でトラブルが発生した際、当時の理事会で理事であった私に相談が持ち掛けられ、保有の技術的知見を持って円満に解決したことから、今まで企業や法人に向けての技術が、一般の人々にも活かせることが実感でき、より一層技術士となり研鑽を積むことで、少しでも多くの人役に立ちたいとの思いが強くなりました。

■勉強方法

受験に向けてまず取り組んだのは、市販の参考書(基礎科目・適正科目)を購入し、受験の内容を把握したうえで、受験日までのスケジュールをなるべく細かくたてることでした。次に多くの人と同様と思いますが、参考書にある過去 5 年の問題を解くことから始めました。始めてみると分からない問題が多

く、特に基礎科目は高校や大学時代に習っていたものが多く、40 年も前のことで遙か忘却の彼方のものばかりでした。基礎科目と適正科目については、参考書に詳しい解説書がついているので、全てではありませんが何とか理解する事は出来ました。ただ、衛生工学部門の専門科目の参考書は市中の書店では販売されていないことから、協会のホームページから問題を入手し、分からない問題については、もっぱらネットで調べて理解するようにはしてきました。また、当然過去 5 年だけでは知識・情報量として不足するので、基礎・適正科目についても同様に学習を続けました。解いた問題は、大判の受験ノートに綴り、さらにポイントをポケットサイズのノートに書き留めることで、通勤電車の中や休憩時間で繰り返し、頭に入れるようにしていました。

■受験体験

初めて受験をした感想は、基礎科目の時間が短かったことです。私の中では一番苦手な科目で、一度つまづくと時間がどんどん経過し、あせりもあって冷静に問題に取り組むことができなくなり、案の定合格点に至りませんでした。2 回目は、この経験をふまえて時間配分を十分考慮したうえで取り組むことができ、何とか合格することができました。

■今後の目標

現在、2 次試験の受験に向けて勉強中です。さらにハードルは高いのですが、私の座右の銘でもあります「為せば成る、為さねば成らぬ何ごと、成らぬは人の為さぬなりけり」の精神で頑張りたいと思います。技術士を目指すには遅すぎますが、人生 100 年、1 億総活躍時代とも言われていますので、これからでも何かの役に立てばとの思いであります。最後に、休日のもっぱら勉強に時間を当てていることに協力してくれる家族に感謝しております。